



都市が暑くなっているって本当なの

本当に暑くなっている

テレビの天気予報などで、日本の各地の気温を報道しています。それぞれの都市部の気温と、そのまわりのこう外の気温を比べると、都市部の気温のほうが高くなっています。

東京の都心の大手町と、こう外の八王子の気温を比べると、月の平均気温は、大手町のほうが高くなっています。

ほかにも湿度が低くなったり、弱い雨が降ったりするなど、都市特有の気象が起きてきます。これを都市気候とよんでいます。

都市部は熱がたまりやすい

大都市になるほど、多くの人々が生活するために、たくさんの熱を使います。この熱は大気中（空気中）に出されて、空気を暖めます。

夏に使うクーラーは、部屋の中をすずしくしますが、部屋の熱は、部屋の外に出ていきます。また、クーラーそのものからも熱が出ています。

都市部には、アスファルトでおおわれた道路が多く、昼間は太陽の光で暖められ、夜はその熱を大気中に出しています。また、ビルなどの建物が多いため、風通しが悪く、熱がたまりやすくなります。大気中に出された熱は、地表付近にたまり、夜の気温が下がりにくくなります。

一方、こう外では、都心部に比べて、アスファルトでおおわれた道路やビルが少なく、緑の木々も多いので、熱がたまるのが少なくなり、都市部に比べて、気温が低くなります。

（監修・村山 貢司）

